

【R4年度】すまいる職員対象 放課後等デイサービス自己評価表アンケート集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		・(未回答1名) ・定員は範囲内であるが、活動スペースに限りがあり、利用児が集中することにより混雑してしまう。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	1		・日によっては多いくらいだと思う。 ・利用児の人数に応じ、手厚い職員体制で支援ができています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			・足元の段差が無い等、バリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			・年度末に必ず保護者用アンケートを実施している。その結果を開示している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			・保護者の方が目を通しやすいよう廊下に掲示されている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	2	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・様々な研修を受講して支援の向上に努めている。 ・冬に数回支援の資質を向上させる為、支援者全員でリモート研修等に参加をした。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・支援計画を立案する前は保護者からの聞き取り、または支援会議に基づいて立てている。 ・その時の状況に合わせて、支援者同士で話し合い、共通理解をしながら作成できている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2		・アセスメントシートの項目で確認している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			・ミーティングで全員で意見を出し合いながら立案している。 ・保育士を中心にプログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			・新たな試みを組み込んだり、室内活動と屋外活動が連続にならないよう心掛けている。 ・同じ活動の中でもやり方を変える、負荷をかける、子ども達のアドバイスを元に内容を変えてみるなどしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1		・長期休暇や祝日開所時は利用児の特性、活動量などに応じて行き先や担当を決めたり、環境設定を行う。 ・1か月分の予定を立てその日のプログラムを作成している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム活動には出来るだけ参加できるように支援しているが、利用児に合わせ活動内容を変える。 ・集団が苦手な場合は時間をずらす、場所を変えるなど支援者同士が共通理解した上で作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日必ず出発前ミーティングを行っている。 ・必ず出発前ミーティングで注意点、留意点を支援者同士確認した上でお迎えに出掛ける(プログラムの流れも要確認)。学校の申し送りも支援者同士で周知し支援にあたる。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		2	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌に特記すべきことの聞き取りなど、支援者同士で振り返りを行っている。 ・必ず支援者全員で共通理解が出来るよう、細かく振り返りができている。 ・仕事開始前と終了後に必ず気づいたこと、問題点、課題など話し合う時間を取っている。 ・終業時間が押してしまい、全員での支援終了後の振り返りが難しい為、翌日の出発前にも兼ねるしかない。 ・緊急や重要な事については必ず当日振り返りをしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日日誌を当番制で記録し、癩癩のある児童については利用日ごとに回数、状況を記録している。 ・支援者同士で話し合い、振り返りを直接行う他に日誌でその日の利用児の様子を記録をしている。支援の統一を図ることが出来るよう一読した際は印を押している。 ・その日の日誌をつけている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を立てる際、保護者の方に声を掛けモニタリングの時間を設けるようにしている。保護者の方と情報共有をした上で計画を立てている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	9			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議は児発管を中心に保育士も参加している。 ・児発管が日程や会議が重なってしまった時などは精通した保育士が出席をしている。ミーティングや日頃の支援の中で聞き取りをしてから、モニタリング資料を作成し出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8		1	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の引き渡しの際に情報共有している。下校時刻については保護者からも小まめに情報が伝わる。 ・だいたい出来ていると思うが、下校時刻の変動が多い学校があり、ダブルチェックの必要がある。複数の支援者で確認。支援者全員で周知する。 ・学校の先生から引き渡しの際にその日の子どもの様子を聞くようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		2	・見学、支援会議、資料で共有している。 ・利用する前に実際見学に行き、子どもの様子を見たり情報共有することができている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1		
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	6	・コロナ禍のため機会があまりない。 ・コロナの為交流する機会が作れないのが現実。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	7		・コロナ禍のため機会があまりない。 ・コロナの為交流する機会が作れないのが現実。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		・子どもの送迎時、必ず当日の様子を伝えている。 ・お迎え時に様子を伝えたり、何か変化があった時などは時間を設けている。モニタリングや支援計画作成により聞き取りを行い、共通理解出来るようにしている。
保護者への説明責任等	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	1	(未回答1名)
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			・相談支援加算について、保護者全員に伝えた。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1		・保護者からの相談の他に相談支援の時間を設けている。保護者の方のその時の表情や話し方、異変などにも気を配っている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1		・保護者会を開催した。良い講義も受けられ、保護者同士の交流の場も設ける事ができた。当日参加した保護者からも良い感想が聞けた。 ・2/10に行った。反省点をふまえ、今度は早いアナウンスをし、交流を深める内容にしたい。 ・なかなか出来なかった保護者会を数年ぶりに開催できた。今後も増やしていきたい。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		・すぐに支援者全員で話し合いをし、改善出来るよう努めている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			・「すまいるニュース」を発行し、配布している。 ・すまいるニュースにて定期的に日頃の様子をお伝えしている。SNSの活用や、直接口頭での発信を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	⑳	個人情報に十分注意しているか	8		1	・個人情報を保管してある棚には施錠し、お子さんの目に付かないよう対策している(いたずら防止)。
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			・利用児のその時の状況をよく見てどのような支援をしていかなければならないのかを支援者同士で話し合い、支援の仕方を統一できるようにしている。捉える力をつけること。保護者の方へその都度発信。
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	2	・コロナ禍のため今のところない。 ・コロナ祭(コロナ禍で開催出来ていない)
非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			・プログラム活動で避難訓練を行っている。 ・定期的にプログラム活動の中に取り入れている。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			・必ず口頭で保護者の方に出来事を話し、理解してもらったうえで記載するようにしている。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	2		・医師の指示書を保護者の方から集めたいと思います。 ・アレルギーのある利用児の名前、アレルギーの物を記載、支援者全員で確認できるよう掲示されている。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			・ヒヤリハットがあった場合は必ず全員で振り返りをし、報告書を作成し、保管している。 ・小さなことでも危ない、ひやっとした出来事があった場合には支援者全員で振り返り、反省、今後の対応をよく話し、今後起こる事がないよう、ヒヤリハットを作成している。